

## 令和6年度第2回佐伯市子ども・子育て会議記録（抄録）

日時：令和6年10月31日（木）19時～20時45分

場所：佐伯市役所本庁舎 6階 第1委員会室

出席：委員18名のうち15名（3名欠席）

事務局：加藤福祉保健部長

（こども福祉課）甲斐総括主幹、御手洗総括主幹、吉良副主幹

（学校教育課）染矢総括主幹

（健康増進課）野村総括主幹

（障がい福祉課）大島副主幹

（福祉保健企画課）久保田総括主幹

傍聴人数：0名

### 1 開会

### 2 会長あいさつ

### 3 部長あいさつ

### 4 議事

#### （1）第3期佐伯市子ども・子育て支援事業計画の素案について

事務局から資料に沿って説明をした。

#### 【主な質問・意見】

・文章中の表現で『こども』の表記が漢字であったり、平仮名であったりと統一性がないように感じる。

→国の基準等を確認して、次回までに回答する。

・小児医療体制の維持・確保の課題や問題点の中に、今後医師会との協議・検討が必要であると記載されているが、夜間の受診や救急の面で不安を抱える親子の相談がよくあるが、今あるものを拡充したりするのに時間がかかるとしても、周知・広報をしっかりと、例えばチャート式のように、「この場合はこうなる」というようなものを協力して目に見えるもので作っていただけないか。

→現在、小児救急ハンドブックを家庭に配布している。また周知方法についてはいただいた意見を基に検討していきたい。

・佐伯市の現状の夜間の救急の体制は今どういう状況になっているのか知りたい。

→非常に現実的に難しい問題だと考えている。佐伯市内には小児科が3カ所あるが、夜間においては十分対応できていない。小児救急ハンドブック等を活用していただき、すぐに病院に行かないといけないのかどうかというのをまず判断していただくか、#8000もある。今後広域的にどういう風にしていくかが引き続き課題となっている。医師不足の中、今後地域の中で医療を完結していくためにどう

していくかというのは引き続き考えていかなければならない。

・子どもの居場所づくりの支援の中の、「子ども食堂・学習支援」は、体系的に「きめ細かな対応が必要な子供と親への支援」に入っているが、県のこどもプランでは、「こどもの健やかな成長と母親の健康を支える環境づくり」の中にある。佐伯市の施策の方向性で言うと、2「子どもを安心して産み育てる環境づくり」の③「食育の推進」。体系の分け方について県との整合性という観点から、佐伯市としてはこちらに入れることに対してどうなのか。

→まだ県の計画の情報がないため、県の資料を確認してもう一度入れ替えをしたい。

・53 ページの基本的視点の内容と、99 ページの市民それぞれの役割との整合性が取れていないように感じる。それらの視点でもう1回見てほしい。

→もう1度見直して、視点を持っていきたい。

・PDCA が書かれているが、子どもが真ん中というところであれば、チェックのところ、「子どもたちの声」を聞いてあげて、アクションの方に展開すると、きっとまたすごい形で子どもたちが笑顔になれるのではないかと思う。

→チェックのところに子どもたちも参加してもらい、子どもの関わる事業だけでも、できるところからやっていければ。

#### ●承認

・第3期佐伯市子ども・子育て支援事業計画の構成、第3期計画の施策体系について、共に委員（15名全員）の承認をいただいた。

#### その他

・次回の会議は、11月29日(金)の14時から開催。

#### 閉会